

平成27年8月4日
日本生命保険相互会社

「中学生向け出張・受入授業『将来について考えよう』」の 第9回キッズデザイン賞受賞について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は社会貢献活動として取り組んでいる「中学生向け出張・受入授業『将来について考えよう』」について、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する「第9回キッズデザイン賞」～未来を担う消費者デザイン部門～を受賞いたしました。

この活動は少子化・高齢化等、社会環境が変化する中、子どもたちが自分自身の将来について考え、きり拓いていくことを応援したいとの想いで、平成23年度より開始したものです。

「出張授業」は、当社職員が講師として中学校を訪問し、就業・結婚・育児等、将来迎えるライフイベントについて、社会環境の変化や必要資金の視点で解説し、将来設計の大切さを伝えるものです。「受入授業」は、生徒が来店型店舗ニッセイ・ライフプラザ等に来社し、出張授業の内容に加えて、職場見学や先輩社会人との座談会の機会を提供するものです。

学校からのご要望に合わせてプログラムをカスタマイズすることで高校生等にも対応しており、平成27年7月末までに、160校・13,746名の生徒に参加いただきました。

当社は「次世代支援」を社会貢献活動の1つの柱に据え、これからも未来を創る子どもたちのための活動を続けてまいります。

《キッズデザイン賞の概要》（出典：キッズデザイン協議会HP）

- キッズデザイン協議会は、次世代を担う子どもたちの安全・安心の向上と、健やかな成長発達につながる社会環境の創出のために、経済産業省と有志による企業・団体が業種を超えて集い合うNPOです。
- キッズデザイン賞は、「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」ための製品・空間・サービスで優れたものを選び、広く社会へ伝えることを目的としています。子どもが使う製品はもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てへの配慮があれば応募可能です。日用品から住宅、街づくり、ワークショップ、調査研究まで幅広い分野が対象となっています。
- 未来を担う消費者デザイン部門では、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取組み、それに資する社会環境づくり、消費者の行動を促す取組み等が選定されます。 ※対象年齢：小学生・中学生



以上

《教育現場から寄せられた声》

別紙①

1. 生徒からの感想

- 生活費や教育費など、わたしたちが生きていく中でたくさんのお金が掛かっていることがわかり、親に感謝したいと思った。
- 自分がいつか結婚し、家庭を持った時、責任を持って子どもや家族を支えていかなければならないと思った。
- 少子化・高齢化が進む中、自分も高齢者を支えていかなければならないし、いずれ支えてもらう立場にもなる、ということの重大さを知った。
- 人生には“まさかの出来事”があるので、しっかり備えていきたいと思った。
- 目の前にあることをただやみくもにやるのではなく、今から目標を立てて、しっかり取り組むことの大切さを学んだ。

2. 先生からの評価

- 社会環境やお金について、データに基づいた現実的な話だったので、生徒も実感を持って受け止められたと思う。
- 進学という目先の進路だけでなく、人生をどう生きるのか、ということを考えさせる良いきっかけになった。
- 生徒にとってキャリア形成支援・講師を通じた社会体験という二つの意味を持つと感じた。

《授業風景》



出張授業（講義）



出張授業（グループワーク）



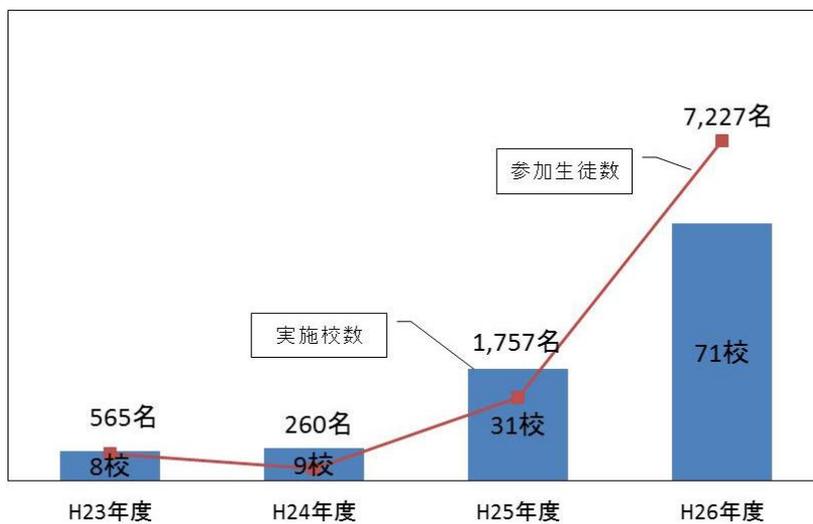
受入授業(ニッセイ・ライフプラザ丸の内見学)



受入授業（経営層との座談会）

《これまでの実績》

- 全国で授業を展開しており、実施地域は44都道府県に拡大。
(今年度新たに実施予定の3県を含む)



※H27年度は41校・3,937名 (7月末現在)